

一般社団法人日本粘土学会 2024年度第3回常務委員会議事録

日時：2024年7月13日（土）13:00～14:30

場所：国際文献社 アカデミーセンター4階会議室およびZoom

出席者：常務委員（13名）川俣 純、日比野俊行、蛭名武雄、中戸晃之、小口千明、
亀島欣一、佐久間博、地下まゆみ、手束聡子、森本和也、渡邊雄二郎、鈴木憲子、横山信吾、

欠席者（3名）：伊藤健一、笹井 亮、鈴木正哉

監事（2名）：志々目正高、高木哲一

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数16名の過半数9名

出席常務委員13名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 2024年度事業中間報告（資料1）

各担当委員より資料をもとに説明があった。横山粘土科学編集委員長より、8月号に論文を1件掲載する予定との報告があった。中戸Clay Science編集委員長および事務局より、合冊版として年2回発刊する予定であり、次号の発刊は7月20日との報告があった。森本参考粘土試料委員長より、新規にイモゴライトの頒布を開始し、海外より1件の申し込みがあったことが報告された。佐久間広報委員長より、2023年12月より開始したホームページサーバーの移転作業を完了したとの報告があった。蛭名常務委員長より、学術賞等の受賞者について報告があった。

小口庶務委員より報告のあった、JPGU宛に来ている他連合の要望書への賛同の有無については、加盟しているJPGUが賛同しているので、本学会は個別に対応しないことになった。また、学協会の現状に関するアンケート調査への協力については、事務局と相談して回答をすることになった。

2. 2024年度会計中間報告（資料2）

伊藤会計委員（録画）より、資料をもとに報告があった。一般会計決算報告書では、雑誌掲載収入や購読収入、討論会収入、広告収入などの増加により、事業活動収入が予算額より増加したことが報告された。また、参考粘土試料の頒布事業によりコンスタントに収入があるとの報告があった。

3. 2025年度業務委託契約（資料3）

事務局より、資料をもとに報告があった。業務委託契約書の覚書について、文言の訂正と日付の更新について報告があった。また、契約金額算定基準書の改定について報告があった。

4. 2025年度事業計画（資料4）

各担当委員より、資料をもとに説明があった。第68回粘土科学討論会の鈴木(正)実行委員長に代わり蛭名常務委員長より、討論会は2025年9月10日、11日に産業技術総合研究所（臨海副都心センター）にて開催することが報告された。

5. 2025年度予算（資料5）

伊藤会計委員（録画）より、資料をもとに報告があった。2024年度の予算は例年並みに組んでいることが報告された。今後、雑誌印刷費の高騰を鑑み、各委員会での価格改定について検討が必要との説明があった。

6. 2024年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料6）
笹井学会賞等選考委員長に代わり蛭名常務委員長より、資料をもとに選考結果について報告があった。また、本年度選考委員会より、「受賞条件に粘土科学もしくはClay Science への投稿実績があることを条件として加えてもよいのではないか」との意見がでたとの報告があった。本学会誌への投稿があることを特記事項として明記できるように応募フォーマットの改訂を検討することになった。
7. 2024年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料7）
蛭名常務委員長より、選考結果について資料をもとに報告があった。当初の対象は学生に限定したが申込がなかったため、学術振興賞運営内規第1条に則り、対象を40歳未満の個人会員広げて再公募したことが報告された。
8. 2025・2026年度日本粘土学会役員候補者選出結果（資料8）
川俣選挙管理委員に代わり蛭名常務委員長より、資料をもとに会長候補者、理事候補者、幹事候補者について報告があった。
9. 2024年度総会の開催日時と形式について（資料9）
蛭名常務委員長より、資料をもとに報告があった。総会は、2024年9月4日（水）11:00-12:30に開催することが報告された。また、Google formにより出欠を確認し、欠席者には委任状の提出を依頼することが報告された。
10. 第67回粘土科学討論会準備状況について（資料10, 11）
中戸実行委員長より、資料をもとに討論会について報告があった。参加申し込みは103名であることが報告された。また、発表開始時刻を9:00から9:30に変更することが報告された。さらに、学内Wi-Fiのアカウント発行は、Eduroamに加盟していない方に限定するとの説明があった。なお、見学会への申込者は16名であることが報告され、希望者がいればさらに4名の申込を受けつけるとの説明があった。
渡邊企画委員長より、資料をもとに5名のシンポジウム講演者について報告があった。
11. 研究グループの設立について（資料12）
蛭名常務委員より、資料をもとに研究グループ「クレイナノプレートのキャラクターゼーション」設立の趣意説明があり、設立趣意書の内容が承認された。
12. その他
特になし。

報告事項

1. CMS-Asian Clay 合同会議の開催報告（資料13）
蛭名常務委員長より、資料をもとに報告があった。日本からの参加者は全参加者の1/5であり、6名の若手研究者が賞を授与されたことが報告された。また、開催報告は粘土科学の8月号に掲載することになった。
2. その他
特になし。

以上、審議の上、承認された。

報告事項

1. 特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

2024年7月13日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 蛭名武雄 ㊟

監 事 志々目 正高 ㊟

監 事 高木 哲一 ㊟